

こんにちは、日本臨床漢方医会です。  
各地で桜の開花が楽しめる時期となりました。

いかがお過ごしでしょうか？

日頃からの養生と心身を整えられる  
「漢方薬」の活用は、  
春も元気に過ごす一手になります♪

多くの方に「漢方」を知って頂きたく、  
皆さんに役立つ漢方情報をお届けします。

++…… INDEX ……++

【1】OTC 類似薬の保険適用除外問題について

【2】なるほど漢方講座  
～春こそ漢方

【3】春の生薬:辛夷(しんい)

【4】講演会～主に医療関係者向け

【5】漢方家庭医講習会～主に医師・歯科医師向け

■ 編集後記

---

【1】OTC 類似薬の保険適用除外問題について

---

先月の号外で配信しました通り、

今年 1 月に  
「OTC 類似薬は保険適用から除外すべき」  
とする提案が衆議院でなされました。

当会は断固反対で

<https://kampo-ikai.jp/news/20250219/>

にも、詳細に表明して強く警戒しています。

上記を掲載したことで、  
漢方薬を服用または処方されている  
方から、多くのご意見をいただきました。

ほとんどの方が当会と同様に、  
保険適用除外は反対！とのご意見でした。

今後も、除外に向けた動きが  
進んでしまう可能性が有ります。

まだ署名活動まではいたっておりませんが、  
今後も日本東洋医学会と協力して、  
これらの問題に取り組んでいく所存です。

---

## 【2】なるほど漢方講座 ～春こそ漢方

---

ようやく暖かな気候になってきたか...  
と思えば、その翌日には雪が積もり、

翌日には5月並みの暑さとなるなど、  
極端な三寒四温の春で、  
体調を崩す方が多くなっております。

インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症が  
落ち着いたかと思えば、  
体調悪化に伴うのか、外来では  
感染性胃腸炎が増えて来ております。

胃腸炎といえば、この時期に  
杉などの針葉樹林の下で  
直径1cm程の雪の結晶のような  
白い小さな花が咲いているのが見られます。

古くは、カクマクサや  
ヤマクサと呼ばれていた植物です。

根茎を乾燥させて、  
生薬にするのですが

"黄"色の根茎が"連"なる形であるため  
中国から漢方が導入されたときに  
"黄連(オウレン)"と名がついたようです。

日本産の"黄連" は品質的に  
中国産より優れ、かつては中国にも  
輸出されていたそうです。

ですが、種をまいて収穫するまで  
5-10 年ほどかかり、さらに  
販売価格低下に伴い  
生産農家が減少を続けているそうです。

健胃消化、止瀉整腸作用など  
胃腸炎に効果がある以外に、

血圧降下や止血、精神神経作用があり、  
黄連解毒湯(オウレンゲドクトウ)、  
温清飲(ウンセイイン)、  
半夏瀉心湯(ハンゲシャシントウ)など、  
多くの処方に配合されています。

嘔吐や下痢、胃炎などの諸症状に  
"黄連" を含む漢方薬はいかがでしょうか？

---

### 【3】春の生薬：辛夷(しんい)

---

春先になると、ふわふわした毛に覆われたつぼみをつける植物に、

ネコヤナギやハクモクレン、コブシなどがあります。

どれも薬用として用いられますが、可愛いつぼみをそのまま生薬として用いるのは、ハクモクレンやコブシの方です。

このハクモクレンやコブシのつぼみ、漢方では「辛夷(シンイ)」として、有名です。

辛夷には、シネオールという芳香成分が含まれ、

鼻の通りを良くしたり、鼻の炎症を抑えたりする効果があります。

花粉症だけでなく、蓄膿症や慢性鼻炎にも有効です。

また発汗作用とともに、コクラウリンというアルカロイドを含むため、

鎮静、鎮痛、抗炎症作用を有し、風邪による頭痛なども解消してくれます。

春は花冷えと言って、まだまだ寒い日が続きますので、十分な養生と共に

辛夷の配合されている漢方薬、  
辛夷清肺湯(シンイセイハイトウ)や  
葛根湯加川キュウ辛夷  
(カクコントウカセンキュウシンイ)  
なども、是非試して頂ければと思います。

漢方薬は草根木皮、自然由来の生薬で、  
生命力に溢れた活力を持った方剤です。

私たちは、有難くもこの漢方の力、  
恩恵を、現在いつでも保険診療のおかげで、  
享受できるわけですが、

しかし、一方で、資源でもあるこの漢方、  
私たち自身が守っていかなければならないのも事実です。

どうぞ漢方ライフを楽しんで頂くと共に、  
これからも保険漢方を宜しくお願い申し上げます。

京メディカルクリニック 岸本京子

※「葛根湯加川キュウ辛夷」の  
キュウは、くさかんむりに弓という字です。

---

#### 【4】講演会～主に医療関係者向け

---

第75回日本東洋医学会学術総会内で、  
医会講演会を以下の通り開催予定です。

●日程:2025年6月7日(土)17:15～18:15 予定

●会場:京王プラザホテル

第 11 会場(43 階 部屋名:スターライト)

●参加方法:日本東洋医学会総会ページにてオンライン登録が必要です。

●演題:「私が見たくない未来」

202X 年 医療用漢方 保険薬価削除

※講演とパネルディスカッションの2部構成です。

●講演座長 兼 パネルディスカッション司会:

並木 隆雄先生

(国際医療福祉大学成田病院 予防医学センター・病院教授)

●講演 演題:

「国保審査委員が知って欲しい

セルフメディケーション推進下での持続可能な漢方外来・クリニックとは?

医療用漢方エキス製剤処方医の過去・現在・未来」

【話題提供者】川越宏文先生(ちぐさ東洋クリニック 院長)

●パネルディスカッション:

渡辺賢治先生(修琴堂大塚医院 院長・横浜薬科大学 学長補佐)

川越宏文先生(ちぐさ東洋クリニック 院長)

玉嶋貞宏先生(玉嶋血液内科・漢方診療所 院長)

▼詳しくは

[https://kampo-ikai.jp/contents/ct\\_lecture2025/](https://kampo-ikai.jp/contents/ct_lecture2025/)

⇒ 詳細情報が追加され次第、上記サイトは更新いたします。

※日本東洋医学会学術総会にお越しになる方は、

ぜひ、6月7日(土)17:15～第11会場にお越しください♪

---

## 【5】漢方家庭医講習会～主に医師・歯科医師向け

---

次回の漢方家庭医講習会は、  
7/19(土)夜に開催予定です。

詳細が決定次第、  
ホームページでお知らせいたします。

なお、医会会員であれば、  
見逃しても【会員特典】として、  
他の過去の講演会や講習会も含めて、  
ホームページから、いつでもご覧いただけます♪

<一例>

▼漢方家庭医会 動画(第74回まで掲載中)

<https://kampo-ikai.jp/category/movie/training/>

当会に入会し、講演動画で  
漢方への学びをより深めてみませんか？

当会では、ショートレクチャーを除く  
講演会・講習会などの参加や動画視聴で、  
規定の研鑽に努め、認証を得た会員を  
「漢方家庭医」として認証しています！

漢方を深く学びたい医師・歯科医師で  
「漢方家庭医」の認証を取得したい方は、

<http://kampo-ikai.jp/profile/profile4/>  
より、案内をぜひご覧ください<m(\_\_)m>

---

## ◆編集後記

「漢方医」の診療を受けたい方は、

ホームページから

「漢方医」検索ができますよ!(^^)!

↓ ↓ ↓

<https://kampo-ikai.jp/doctor/>

通える所を探したいという方は、

ぜひ、上記サイトをご参考に♪

本メールが健康を保つ

一助になれば、嬉しいかぎりです。

漢方を活用して、

この春も元気に乗り切りましょう！！

では、次号もどうぞお楽しみに(\*^\_^\*)b

◇◆\*...

---

発行元: 日本臨床漢方医会事務局

URL : <https://kampo-ikai.jp>

お問い合わせ [jim@kampo-ikai.jp](mailto:jim@kampo-ikai.jp)

-----  
2009 年の保険除外の反対署名された方や  
医会からのお知らせをご希望された方に  
メール配信しています。  
-----

---

...\*◆◇